

(数学演習Ⅱ) 学習指導案

					授業者	
学級	3年 1組	教室	123教室	日時	平成22年 6月15日(火) 2時限	
単元	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B			使用教科書	自作プリント ニューステージ数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B	
指導目標	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bで学習した内容をもとに、総合的な数学の能力を伸ばし、応用力を高めるとともに、数学的なものの見方や考え方のよさを認識させる。			指導計画	数学A・・・・・・・・・・30時間 集合と場合の数・・・・・・・・10時間 確率と期待値・・・・・・・・10時間 (本時はその7時間目) 命題と論証・・・・・・・・・・5時間 平面図形・・・・・・・・・・5時間	

本時の指導

主題(教材)	確率分布の表を作成して、期待値を求めさせる。期待値を利用して損得または、有利・不利を判断させる。			
前時の課題	P36の100(1)(2)(3)・101(1)(2)を予習しておく。			
目標	1 簡単な具体例を通して期待値を取り上げ、身の回りの場面で活用できるようにする。 2 確率分布の表を作成して、確率の和が1であることを確認させる。 3 確率の基本的な知識の取得と技能の習熟を図り、応用問題を解けるようにさせる。			
	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項	評価の方法・規準等
指 導 過 程	(導入) 小テストにより、前時の内容を確認する。	8	・机間指導を行い、生徒の理解度を把握する。	・前時の内容が定着しているか。 <知識・理解>
	(展開) 予習した5問を板書する。	10	・生徒を指名して板書させる。	・丁寧な板書ができているか。 <表現・処理>
	1 100(1) (金額の期待値)の解説を聞く。	4	・確率分布の表を作成させ、確率の和が1であることを確認させる。	・期待値の定義、意味を理解し、期待値の求め方がわかるか。 <知識・理解>
	2 100(2) (個数の期待値)の解説を聞く。	4	・金額や個数が0のときも、確率を計算させる。	
	3 100(3) (金額の期待値)の解説を聞く。	4	・確率は通分しないほうが都合がよい場合があることを理解させる。	・身近な問題として、損得を判定するとらえ方ができるか。 <数学的な見方や考え方>
	4 101(1) (有利か)の解説を聞く。	4		
	5 101(2) (不利か)の解説を聞く。	4		
	6 自作プリント68を解く。	8	・反復試行の確率を公式を用いて求めさせる。	・損得問題を解決しようとするに関心をもつか。 <関心・意欲・態度>
	(1) 反復試行の確率を求める。 (2) 得点の期待値を求める。		・机間指導を行い、生徒の理解度を把握する。	
	(整理) 1 本時のまとめをする。 2 次時の学習内容を確認する。	4	・本時のまとめと次時の課題を確認させる。	
備考	学科・類型 (普通科・理類型) 男子 (19人) 女子 (6人) 計 (25人)			